

令和2年度 福岡支部  
保険者機能強化予算（案）について

---

# 1. 令和2年度福岡支部保険者機能強化予算（案）

## 1. 支部保険者機能強化予算の区分等

予算区分		分野	支部予算枠 (千円)
支部保険者機能強化予算	支部医療費適正化等予算	①医療費適正化対策経費	31,250
		②広報・意見発信経費	
	支部保健事業予算	③健診経費	187,600
		④保健指導経費	
		⑤重症化予防事業経費	
		⑥コラボヘルス事業経費	
		⑦その他の経費	
合 計			218,850

## 2. 支部医療費適正化等予算

分野	事業名	経費(千円)
①医療費適正化対策経費	事業所訪問等によるジェネリック医薬品等普及勧奨業務委託	1,988 (9,020)
	福岡労働局・福岡県・福岡市・北九州市との共同によるメンタルヘルス対策セミナー開催	325
	健康保険証未返納者への返納電話催告委託業務	4,800 (5,291)
	薬剤師会と連携した投薬適正化事業（新規2）	4,700
②広報・意見発信経費	協会けんぽ壁紙新聞コンクール（新規1）	12,000
	紙媒体による広報 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所向けチラシ</li> <li>・任意継続加入者向けパンフレット</li> <li>・「協会けんぽのしおり」作成</li> <li>・年金事務所主催算定説明会資料作成</li> <li>・年金事務所主催年金委員研修会資料作成</li> <li>・メールマガジン配信に関する広報（任継）/（被扶養者）</li> <li>・社会保険ふくおかへの同封チラシ作成及び同封手数料</li> <li>・無資格受診発生の未然防止ポスターの作成</li> <li>・限度額適用認定証使用促進のためのポスター作成</li> </ul>	7,437
合 計		31,250

※支部医療費適正化等予算については昨年度を基準に新規事業を追加した案の段階です。 1

※（ ）内は同事業における前年度（令和元年度）の予算になります。

# 1. 令和2年度福岡支部保険者機能強化予算（案）

## 3. 支部保健事業予算

分野	事業名	経費（千円）
③健診経費	事業者健診HbA1c追加検査費	504
	健診予定者名簿送料	1,400
	健診実施機関実地指導旅費	300
	集団健診	35,938
	事業者健診の結果データの取得	39,767
	健診受診勧奨等経費	22,312
④保健指導経費	保健指導機関委託費（システム対応できない分）	618
	中間評価時の血液検査費	4,905
	保健指導用データ等送料	1,460
	保健指導用パンフレット作成等経費	310
	保健指導用事務用品費（測定用機器類等）	400
	保健指導用図書購入費	120
	保健指導利用勧奨経費	3,349
⑤重症化予防事業経費	未治療者受診勧奨	46,817
	重症化予防対策（新規3）	10,735
⑥コラボヘルス事業経費	コラボヘルス事業	4,221
⑦その他の経費	その他の保健事業	6,494
合 計		179,650

※支部保健事業予算については昨年度を基準に新規事業を追加した案の段階です。

# 1. 令和2年度福岡支部保険者機能強化予算（案）

## 4. 令和2年度新規事業の概要

項目	事業名	取組概要	経費（千円）
1	協会けんぽ壁紙新聞コンクール	健康寿命の延伸を目的として小中学生向けに手作り新聞を募集する。 募集にあたっては各教育委員会に後援してもらうことで、学校の授業でとりあげてもらい、入賞者には新聞紙面及びホームページで発表する。	12,000
2	薬剤師会と連携した投薬適正化事業	同一保険薬局内に処方箋を集約している状況下で発生する重複投薬を防止することを目的に、発生事実を通知する。	4,700
3	糖尿病薬服薬中断者への重症化予防事業	4か月以上治療を中断している人をセプトデータから抽出し、早期に通知文書を送付することで糖尿病治療中断を防ぎ重症化を予防する。	7,500
合 計			27,278

新規事業のうち上記項目2及び3はパイロット事業として応募中。事業として採用された場合は、支部の予算ではなく本部予算から経費は執行されます。  
その際は、上記の事業にかわる事業を支部事業として実施する予定です。